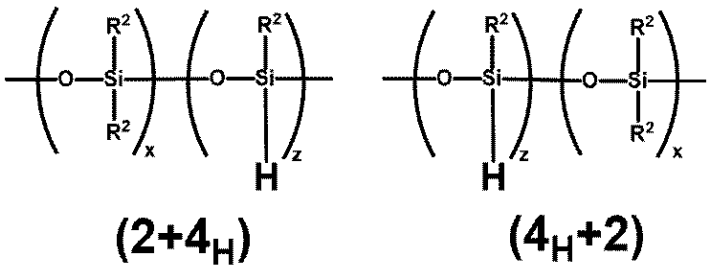
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年6月20日(2024.6.20)

【国際公開番号】WO2022/030353
【出願番号】特願2022-541486(P2022-541486)
【国際特許分類】
C08G 77/44(2006.01)
C08G 77/12(2006.01)
【ＦＩ】
C08G 77/44
C08G 77/12

【手続補正書】
【提出日】令和6年6月12日(2024.6.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明者らは化学架橋を必要とせず、高い透明性、低線膨張性を有するダブルデッカー型シルセスキオキサン骨格を主鎖に含むシロキサンポリマーを創製するため、その方策について鋭意検討を重ねた結果、当シロキサンポリマーの側鎖にかご型シルセスキオキサン骨格を導入することで分子運動性の抑制と分子間凝集力を強化することに想到した。すなわち、上記課題は本発明によって解決される。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８７】
[２’]　式（２＋4$_H$）および／または（４$_H$＋２）で表される繰り返し単位を有する、[１’]項に記載のシロキサンポリマー（α’）。



$(2+4_H)$　　(4_H+2)

（R^2は、[１’]項における式（４$_H$）中のR^2と同じものを表し；
ｘは独立して０、または正の実数を表し、ｚは独立して正の実数を表す。）
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１９１
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０１９１】
［６’］　［１’］～［４’］項のいずれか１項に記載のシロキサンポリマー（α‘）、または［５’］項に記載のシロキサンポリマー組成物を硬化させた成型体。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１９３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１９３】
［８’］　［１’］～［４’］項のいずれか１項に記載のシロキサンポリマー（α‘）、または［５’］項に記載のシロキサンポリマー組成物を硬化させた硬化物と、前記硬化物に覆われた基材とを備える成形体。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２７４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２７４】
［実施例８’］
シロキサンポリマーを表８に示す組成で溶液を調製し、フッ素樹脂が塗布された基材上に塗布して１８０℃以上の温度で３時間以上加熱後、放冷した後フィルムを基材からはがし、自立膜を得た。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２７６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２７６】
［比較例１’、２’］
シロキサンポリマーを表８に示す組成でＭＫＣ（登録商標）シリケートＭＳ５１（三菱ケミカル（株）、商品名）、ジブチルスズジラウレート（ＤＢＴＬ）を加え、アフレックス（ＡＧＣ（株）、商品名）基材上に塗布し、７０℃で１０分、９０℃で１時間、１１０℃で４０分、２２０℃で２時間焼成後、放冷した後フィルムを基材からはがし、自立膜を得た。
「比較例１’」は前述の「比較例２」と同一であるが、実施例８’～１０’との比較のため再掲する。